

little life

りとるらいふ通信 | 2011.06

News of
今月のニュース
this month

夏本番！暑さ対策しっかりと！

健康1番、節電2番...

東日本大震災から3ヶ月が経ちましたが、復興にはまだまだ時間がかかりそうです。このような状況の中、今年の夏は平年より暑い日が多いとの声も聞かれます。昨年の夏も例年になく猛暑が続き、熱中症で病院へ搬送される方も多くいました。今後、電力需要が逼迫する夏に向けて様々な節電対策を取っている方も多いのではないのでしょうか。極端な節電によりエアコンなどの使用を控えてしまい、熱中症になってしまうケースもあり得るようです。まずは、無理な節電により体調を崩さないよう、十分な休息と、水分補給と温度調整を行い、元気に夏を乗り切りましょう！元気な身体があつての節電です！

先日6月11日リージョンプラザを会場に『ふくしのひろば』が開催されました。上越市内の殆どの福祉事業所が参加する大きなイベントですが、ステージイベントも様々で、ゴスペル、ダンスグループのセッションがあり福祉関係者以外の方も多く来場されていました。りとるらいふも『雑貨屋 mote』のブースを出店し、大勢の方々にご来店頂きヘアピンや、携帯ストラップといった『きら』の自主製品をご購入頂きました。今後、もっと新しい商品を出していきたいと思えます。実店舗もよろしくお祈りします。皆様のご来店をお待ちしております。



moteからの
お知らせ

こんにちは！梅雨の時期がきて、毎日蒸し暑い日が続いています。さて、りとるらいふでは、ホームページのリニューアル準備が進められています。それと合わせてmoteも7月にリニューアルします。最近のmoteでは、7月のリニューアルに向けて、さまざまな準備をしています。具体的には、通信販売で商品を買えるように準備をしています。今まで店内でしか買えなかった商品もインターネットで買えるようになります。ぜひ、ご利用ください。リニューアルまでの店内の様子や、新しい商品についての情報をブログで紹介していきます。今まで以上にブログも更新していこうと思っていますので、ぜひブログも覗いてみてください。グレードアップしたmoteにご期待ください！

(http://blog.livedoor.jp/littlelife_mote/)



「ぶあん」 支援員
「ららん」 主任

江端 美帆さん

りとるらいふに入って1年が過ぎました。社会人1年目は、働くことの大変さを知り、毎日が必死であつという間でした。そして、2年目。責任も少しだけ重くなり、昨年度とは違った悩みや喜びを感じながら日々過ごしています。その中で、『楽しむ』という気持ちだけは変わりません。自分がどんな状況にいても、利用者の方やパソコンと向き合っている時間は、毎回色んな発見や感情が生まれ、とても楽しいと感じます。そういう意味では、1年目より2年目の方が色んな時間を楽しめるようになってきたように思います。

まだまだ未熟者ですが、何事も『楽しむ』気持ちを忘れずに、日々成長していけるよう頑張っていきたいと思えます。

理事長の つぶやき

「あんしんコールセンターに 込めた思い」

社会福祉法人りとるらいふ

理事長 片桐 公彦

りとるらいふは2002年にボランティア団体としてスタートしました。最初は障害のある方々の土日の余暇支援からスタートしました。そこから私的契約のタイムケアを開始し、一軒家を借りて NPO 法人にしました。しばらくすると市の委託事業で障害のお子さんの達の放課後支援のお仕事をいただきました。それが今の「ららん」です。タイムケアも利用料が高くて使いにくいということも承知していましたのでその事業を「行動援護」「移動支援」という事業に当てはめました。きちんとした収入が法人に入ってくるようになり、人を増やすことができるようになりました。2007年には本部を昭和町に移しました。支援だけやっても理解してくれる仲間がいなきゃダメだと思い、研修会やフォーラムをせっせと企画しました。突発的な送迎ができないことで地域での暮らしが整わないことを知って福祉有償運送サービスを開始しました。上越市では障害があっても普通学校に行く児童がかなり多いのですが、学校生活ではそれなりの環境や配慮がされます。しかし放課後児童クラブではなかなかうまくいかない実態を知り、放課後児童クラブの運営を始め、市内の放課後児童クラブを巡回する相談支援事業も開始しました。2010年。勝負の年でした。りとるらいふを社会福祉法人化し、日中活動の場所として「きら」を開設。地域支援のサービス事業所を「生活サポートセンターぶあん」として、それら二つの事業をフレキシブルに運営できるように石橋に「りとるの家」を作りました。

それがこの8年でりとるらいふが行なってきた

実践です。それなりにこの街は「地域で暮らす」ということが定着してきたようにも思いますし、そこに一定の貢献はできたと自負もしています。ここに暮らしの場であるグループホームや短期入所といった事業を加えれば「オール地域」という体制ができあがります。後はその数を伸ばすことと質の向上に集中していけばいいのです。

でも、これだけでは何となく足りないような思いを同時に持ち続けていました。何か、何か足りない、と。

そこで出てきたのが厚生労働省の「地域で障害者を支える体制づくりモデル事業（通称：あんしんコールセンター）」という事業です。この事業は24時間365日何か困ったことがあったら支援をします、相談に乗ります。という事業です。例えば夜にご家族が急病になった。その場合、障害のあるお子さんを抱えてどうすればいいのか、というときに駆けつけて個別の支援や宿泊等のサービスを提供します。あるいは一人暮らしの方で不安をかかえている方のフォローなどを行います。法人をまたいで他法人のグループホームのバックアップに入ったりもします。こんな風に地域全体、街全体に浸透する「安心」が、最終的には障害があっても地域で暮らし続けるためには必要なのです。

こうした「安心」を地域に浸透される事業はりとるらいふがこれまで実践を行ってきてもどうしても必要な資源だったのです。それぞれのパーツの事業は行います。けれどそれぞれのサービスがきちんとネットワーク化して繋がっていかないと意味がありません。

この度、りとるらいふではこのモデル事業の採択を受け7月1日から本格的にコールセンターをスタートさせます。職員として、横浜で同様の仕事をされていた丸田明久さんをコーディネーター・相談員としてお迎えしました。上越市ではこれまでなかった事業ですので我々も正直手探りです。想定されない相談もあると思いますが真摯に向き合おうと思っていますので、どうかこの事業を皆さんの手で育てて欲しいのです。

6月29日 10:00~11:30 と 19:00~20:30、7月1日同時刻に説明会を行います。場所は上越市福祉交流プラザです。たくさんの方の参加をお待ちしています。